事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名	創作どうわ絵本全国公募実施事業			☐ マニフェスト関連	☐ 全庁横断課題関連	☐ 集中改革プラン関連	
総合計画体系 政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	教育委員会	課長名	西川 正則
施策	20	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名	森田 由貴恵
基本事業	67	学習・スポーツの啓発		所属班	図書館班	（内線）	2511

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	図書館法・合志市立図書館設置条例・図書館の自由に関する宣言	成果優先度評価結果	10
	1	10	5	8	10787			コスト削減優先度評価結果	6

終了、開始年度　☐ 21年度で終了　☐ 22年度から開始　事業期間　☐ 単年度のみ　☑ 単年度繰返（開始年度 H17 年度）　☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）

★事務事業の概要（具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述）

【事業の内容】 （開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む）	西合志館にて実施。通常6月上旬から10月下旬まで作品を全国公募し、審査する。 ・平成8年度から「四季の星紙芝居」の全国公募を実施。西合志図書館の天文台の利用促進として行っていたが、応募数の減少に伴い、別案として企画した。平成16年度に開催した「手づくり絵本」講座をきっかけに図書館利用促進として平成17年度より開始。 ・全国から様々な応募があるが、合志市内からの応募が少ない。
【業務の流れ】	実施要綱を作成し、全国公募の周知をする。入賞作品をはじめとする応募作品は10月末実施の「図書館まつり」以降12月末まで展示する。翌年1月からは合志館でも展示する。両館での展示後、優良作品については市立図書館の資料として登録し、利用者への読み聞かせや貸出に使用する。
【主な予算費目】	報酬、報償費、需要費（消耗品）
【意見や要望】 関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	・市内の幼稚園や保育園にも実施要綱を配布してほしい。（保育園などで「手づくり絵本」を製作しているところもあるとのこと） ・公的機関が、全国公募で賞金を授与するのはどうかという意見があり、23年度は見直す必要がある。

1 現状把握の部（DO、PLAN）

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 21年度実績（21年度に行った主な活動）（DO）

・作品募集期間中、前年度の入賞作品等をコーナーを設けて展示し、事業周知のちらし等を配布する。
・全国から応募があり、入賞者を決定後館内展示をした。展示後優良作品については図書館資料として装備・登録をし貸出をした。

22年度計画（次年度に計画している主な活動）（PLAN）

21年度と同様

④活動指標（事務事業の活動量を表す指標）＝①の指標

	指標	（単位）		指標	（単位）
ア	応募作品数	点	イ		

② 対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等

・作品募集は全国民
・貸出対象は図書館利用者

⑤対象指標（対象の大きさを表す指標）＝②の指標

	指標	（単位）
ア	人口	人
イ	図書館利用登録者	人

③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）

・学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できる。
・施設や学習内容を知ることができる。

⑥成果指標（意図の達成度を表す指標）＝③の指標

	指標	（単位）
ア	応募作品数	点
イ		

＊⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠

・合志市立図書館を全国に周知すると共に、図書館利用者が手作りによる絵本の作品に実際に触れ親しむ機会を提供するため。
・周知を徹底し、合志市民をはじめ多くの方に作品を応募してもらいたいため。

(2) 各指標・総事業費の推移

項目		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度（期間限定複数年度のみ記載）
④ 活動指標	ア	点	47	41	50	36	50	50		
	イ									
⑤ 対象指標	ア	人	127768000	127568000	127395000	127767994	127767994	127767994		
	イ	人	40344	41791	42000	43622	44000	44000		
⑥ 成果指標	ア	点	47	41	50	36	50	50		
	イ									
投入量 事業費 財源内訳	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	75	65	65	65	65	65		
	（A）事業費計	千円	75	65	65	65	65	65	0	0
	(A)のうち指定経費	千円								
	(A)のうち時間外、特勤	千円								
人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	6	5	5		
	延べ業務時間	時間	50	50	50	75	50	50		
	(B)人件費計	千円	199	200	199	299	199	199	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	274	265	264	364	264	264	0	0

合志市

事務事業名	創作どうわ絵本全国公募実施事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課

2 評価の部(SEE)

＊原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

	項目	評価
目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐達成した　☑達成しなかった　⇒【原因】 例年に比べ、応募数が少なかった。前年度に意見のあった市内の幼稚園・保育園にも要綱を配布したが、応募はなかった。更なる周知方法を検討する必要がある。
目標達成度評価	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☑目標達成見込みあり ⇒【理由】　☐目標達成は厳しい　⇒【理由と対策】 図書館や投稿サイトのホームページを積極的に活用し、幅広い周知に努め、達成を目指したい。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか	☑向上余地がある　⇒【理由】　☐向上余地がない　⇒【理由】 ・インターネットなどを積極的に活用し、幅広い周知に努める。 ・幼稚園等でカリキュラムの一貫として取り組んでいるところがあるので応募を呼びかける。
有効性評価	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには，この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☑他に手段がある　(具体的な手段，事務事業)　☐他に手段がない　⇒【理由】 ☑統廃合・連携ができる　⇒【理由】 ☐統廃合・連携ができない　⇒【理由】 全国公募のため、受賞者が合志市外の人であった。23年度は、予算が市民に還元されるような事業内容へ見直す必要がある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐削減余地がある　⇒【理由】　☑削減余地がない　⇒【理由】 ・全国公募のコンクールとしては、低い賞金となっている。これ以上の削減はできない。
効率性評価	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐削減余地がある　⇒【理由】　☑削減余地がない　⇒【理由】 ・必要最低限の時間数で業務をしているため、削除の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐見直し余地がある　⇒【理由】　☑公平・公正である　⇒【理由】 ・貸出は図書館利用者全体に行い、応募作品は図書館の財産になるため、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☑見直し余地がある　⇒【理由】　☐役割分担は適正である　⇒【理由】 全国公募のため、受賞者が合志市外の人であった。23年度は、予算が市民に還元されるような事業内容へ見直す必要がある。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

合志市民の応募数が少なかったので、市民により関心を持ってもらうよう周知を徹底する。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

☐廃止　☐休止　☐目的再設定　☐事業統廃合・連携　☑事業のやり方改善(有効性改善)
☐事業のやり方改善(効率性改善)　☐事業のやり方改善(公平性改善)
☐現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

・合志市市立図書館を全国に知ってもらうという効果はあるが、予算が市民に顕現されていないため事業内容の見直しが必要。

(2) 改革・改善による期待成果
(廃止・休止の場合は記入不要)

成果＼コスト	削減	維持	増加
向上		○	
維持			
低下			

(3) 改革，改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

・より多くの市民に、感動を共有し、読書活動に親しむできるよう内容を見直す。

合志市